

東日本鉄道OB会の 皆さまへ

東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役

中川 晴美



あけましておめでとうございます。東日本鉄道OB会の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。マーケティング本部長、品川開発担当、地方創生担当、観光担当、人財戦略部担当を務めております、常務取締役の中川です。日頃より、皆さまには環境美化活動や増収活動をはじめ、多方面にわたってJR東日本グループの業務に多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、去年はポストコロナの経済が本格稼働し、社内では世代交代が進むなど、大きな節目の年となりました。人口減少や人材の流動化、価値観の変容など、より厳しさを増す経営環境の中で、私たちは昨年6月に新たな中長期ビジネス成長戦略「Beyond the Border」を策定しました。JR東日本グループで展開する多様な事業の強みを活かすとともに「融合と連携」をさらに進めることで、グループとしての総合力を発揮し「モビリティ」と「生活ソリューション」の二軸による持続的成長に向け、これまで取り組んできた構造改革を今年はより一層加速させていきます。

また、今年3月にはいよいよ「TAKANAWA GATEWAY CITY」がまちびらきを迎えます。品川～田町間の広大な敷地にわたるこの街は、オフィス・商業・住宅・ホテル・文化創造施設など、さまざまな機能がそろった都心最大級の複合施設です。約150年前に海の上に堤を築き、日本で初めて鉄道が走ったこのイノベーションの地で「100年先の心豊かなくらしのための実験場」をコンセプトに掲げ、国内外のさまざまな社会課題の解決に向けて進化し続けるまちづくりを進めていきます。

JR東日本グループの成長の原動力は「社員一人ひとりの力」であり、新たな成長戦略は「変革」の「主役」である社員一人ひとりの創意と果敢なチャレンジにより、成し遂げられるものだと考えています。これからも社員の多様な意欲に応え、新たな挑戦を通じ社員が自らを成長させ、その成長がグループの成長に結び付くという好循環を拡大し「社員と会社の新たなエンゲージメント」を創出していくことをめざしていきます。

今年は乙巳（きのとみ）の年、「変化を繰り返しながら柔軟に発展・成長していく年」と言われています。JR東日本グループが社会の変化に柔軟に対応しながら一層発展し続けていく年とすべく、全力を尽くしていきます。引き続き、皆さまのあたたかいご支援と、またときには厳しい叱咤激励をいただければ幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びとなりましたが、皆さまとご家族のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

高輪地区でオンデマンドモビリティ「みなりの」の実証運行をスタート



11月1日から2025年9月30日まで、東京都港区高輪地区でKDDI(株)や国際ハイヤー(株)と共同で、東京都港区の協力のもと、AI(人工知能)を活用したオンデマンドモビリティ*「みなりの」の実証運行を行っています。地域交通課題を解消し、2025年3月にまちびらきを控える「TAKANAWA GATEWAY CITY」と、周辺地域の回遊性向上を図ることで、高輪地区の魅力向上をめざします。

*オンデマンドモビリティ・・・特定のエリアにおいて、利用者が希望する時間に乗りたいスポットから降りたいスポットまでを経路上でAIが最短ルートを設定し移動する乗合サービス。

共生社会の実現に向けた講演会を実施 (JR東日本グループボッチャ大会)



11月14日、「JR東日本グループボッチャ大会」を開催しました。当日は、各機関やグループ会社の代表チームによる熱い戦いに加え、共生社会の実現に向けた講演会を実施。会場の東京体育館では、熱い声援が飛び交いました。



「2024年度 JR東日本グループ駅舎清掃競技会」を開催



*参加会社 (11社): (株)JR東日本環境アクセス、(株)JR東日本テクノハートTESSEI、(株)JR東日本運輸サービス、JR高崎鉄道サービス(株)、JR水戸鉄道サービス(株)、JR千葉鉄道サービス(株)、(株)JR東日本テクノサービス、JR盛岡鉄道サービス(株)、JR秋田鉄道サービス(株)、JR新潟鉄道サービス(株)、JR長野鉄道サービス(株)

10月10日、駅舎清掃を担当するJR東日本グループ各社の代表選手が清掃技術を競う「2024年度 JR東日本グループ駅舎清掃競技会」を開催しました。選手はコンコース部門とトイレ部門のそれぞれで、日々の業務で培った清掃技術の速さ・正確さを披露しました。今後もJR東日本グループとして、お客さまが安全に安心してご利用いただけるよう、きれいな「駅」づくりをめざします。

大会結果

・コンコース部門

最優秀賞 JR水戸鉄道サービス(株)

優秀賞 (株)JR東日本環境アクセス、(株)JR東日本運輸サービス

・トイレ部門

最優秀賞 JR新潟鉄道サービス(株)

優秀賞 (株)JR東日本環境アクセス、JR水戸鉄道サービス(株)

天皇ご一家が 「東京ステーションギャラリー」をご鑑賞



9月9日、天皇・皇后両陛下と長女愛子さまが、企画展「空想旅行案内人 ジャン＝ミッシェル・フォロン」を鑑賞されました。当日は喜勢社長、(公財)東日本鉄道文化財団の田浦理事長、駐日ベルギー大使ほか関係者がお迎えし、フォロンの作品にしばしば登場する「リトル・ハット・マン」のブロンズ像をはじめ、東京ステーションギャラリーの富田館長の説明に耳を傾けられていました。

「TRANCITY」(CalTa(株))がCEATEC AWARD 2024 のデジタル大臣賞を受賞



写真左から
平デジタル大臣、
CalTa(株) 高津CEO
(10月15日撮影)



デジタルツインソフトウェア
「TRANCITY」の概要

10月15日、CEATEC AWARD 2024の表彰式が行われ、鉄道インフラ業界のDX実現を担うJR東日本グループ発のスタートアップ企業 CalTa(株)*が提供する「TRANCITY」がデジタル大臣賞を受賞しました。CEATEC AWARD 2024とは、Society5.0の実現を促進し、新たな価値や市場の創造、そして関連産業の活性化に寄与することを目的として実施されています。今回受賞したTRANCITYは、インフラの維持管理や建設業をはじめ、その他製造業などでの幅広い活用が見込まれることや、画像データ管理、情報共有といった幅広い用途など、現場のニーズから生まれた産業DXを進めるソリューションとしての実用性が高く評価されました。

*CalTa(株)・・・2021年7月に点群データなどの取得と鉄道・インフラ業界のデジタル化に関する合併会社として、JR東日本スタートアップ(株)、JR東日本コンサルタンツ(株)、(株)Liberawareの3社で設立。

*受賞の詳細はCalTa(株)プレスでも掲載しています。